

2023.8.10 (木)
第6回例会
(通算3721回)

2023-2024 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「地域を愛し、未来を語る ロータリーの輪を広げましょう」

第85代会長 後藤 公貴
副会長 樋口 貴広
幹事 佐藤 貴之
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2023-2024 年度
国際ロータリーテーマ



世界に希望を生み出そう
2023-2024 年度
RI会長 ゴードン R. マッキナリー
第2500地区ガバナー
鶴見 誠一郎 (紋別港 RC)

月間テーマ

会員増強・新クラブ結成推進月間

本日のプログラム

全道中学親善硬式野球大会報告会 (青少年奉仕委員会)

次週例会

夜間例会「クイズおしえてッ！後藤会長」(親睦活動委員会)

■ロータリーソング：君が代・四つのテスト ■ソングリーダー：浅川 正紳君

■会員数 99名

■ビジター 佐渡 正幸第7分区ガバナー補佐・ // 荒木 潤一幹事
菊地美恵子釧路北ロータリークラブ会長・佐久間 泰弘 // 幹事・小野寺英夫パストガバナー補彩
坂本 良治君 (釧路北 RC)・清水 莊一君 (釧路北 RC)

■ゲスト 橋 幸司釧路リトルシニア球団監督・平野 晃生同主将

会長の時間

後藤 公貴会長



皆さま、こんにちは。一昨日ぐらいから少し寒くなって、もう夏も終わったのかなという感じになっておりましたが、今日は好天に恵まれて、

お盆の期間中も天気が良いということで皆さまは安心されているかと思います。

本日は、ご来訪ロータリアンの皆さまには表敬訪問の際にご案内させていただきました本例会に、佐渡ガバナー補佐をはじめ第7分区各クラブの皆さまにお越しいただき本当にありがとうございます。

そして過日、開催をされました全道中学親善硬式野球大会の運営と指導に当たっております釧路リトルシニア球団監督の橋様。そして、僕の記憶では初めてかと思いますが、選手を代表して釧路リトルシニア球団キャプテンの平野君にもお越しいただきました。本当にありがとうございます。後ほど、貴重なお話を聞かせていただけたと思います。よろしく願い申し上げます。

さて、皆さんご存じのとおり、夏の全国高等学校野球大会が甲子園球場で連日熱戦が繰り広げられています。北北海道代表のクラーク国際高校が悲願の初勝利を収めたことは記憶に新しいと思います。

この甲子園の大会、そして先日の硬式野球大会を見て思ったことです。最近、選手宣誓で「宣誓！われわれ選手一同はスポーツマンシップにのっとり正々堂々と戦うことを誓います」というのを聞かないと思いませんか。これ、いつから今のように、思いの丈を話すようになったのかを調べてみたのです。29年前の1994年に、山口県立光高校が甲子園に初出場された時に当時のキャプテン杉村衡作さんという方が今風に変えて選手宣誓をされたそうです。

その時になぜそのように変えたのかといいますと、一緒に練習をして苦楽を共にしてきた親友の選手がいて、その子が甲子園の大会の前に骨折をして、甲子園の大会に出られない事態に陥ったのです。そして、今でもそうだと思いますがくじを引いて1番が選手宣誓ですので、自分が1番で選手宣誓だと決まって、まず自分らしく選手宣誓をしたい。そして骨折をして残念ながら出られなかった仲間に向けたメッセージを届けたい、そんな思いでああいう形の選手宣誓になったそうです。

杉村キャプテンのその決断も大変すばらしいと思います。その当時、周りにいた指導者、そして周りの大人たちのご苦労というもの何か推察できるなどと思っています。

ご披露いたしますと、その選手宣誓の全文です。

「宣誓！ 野球を愛する私たちは憧れの甲子園球場から全国の仲間へメッセージを送ります。ファイト、フェ

アブレイ、フレンドシップの頭文字「F」のマークをあしらった高校野球連盟の旗の下、わたしたち選手一同は苦しい時はチームメイトで励まし合い、辛い時はスタンドで応援してくれている友人を思い出し、さらに全国の高校生と友情の輪を広げるため、ここ甲子園の舞台で一投一打に青春の感激をかみしめながら、爽やかにプレーすることを誓います」。これを覚えて言うのです。杉村さんは150回くらい練習されたとあります。私だったら読まなきゃ絶対無理なものですから、素晴らしいと思います。

この宣誓はもちろん多くの方の心を打ったそうです。ルールに則って行動を行う・言動することはもちろん大切なことと思うのです。常識にとらわれずに行動すること、何かを行うことは時に良い変化、素晴らしい変化を生み出すことがあると感じます。

多様性が求められる時代です。われわれロータリークラブもこの多様性という言葉は、昨今では大変耳にする言葉であります。私たちはロータリーの活動や日頃の出来事を通じて、常識にはとらわれない柔軟な発想や視点で物事を捉えていく、そして行動をしていく、生活をしていくことが肝要ではないかと改めて感じさせていただきました。

本日も皆さまと有意義な時間を過ごしてまいりたいと思っています。

本日一日、どうぞよろしく願いいたします。会長挨拶といたします。

幹事報告 佐藤 貴之 幹事

皆さま、こんにちは。幹事報告になります。先日、開催された理事会において「夜間ビジターフィー」についての議題があり内容としましては、現在5,000円のビジターフィーです。今後は6,000円をお願いしたいと決議されております。理事会の内容は議事録が出来上がりましたらボードに掲示いたしますのでご覧ください。よろしく願いいたします。

以上、幹事報告となります。

■本日のプログラム■ 全道中学親善硬式野球大会報告会

青少年奉仕委員会 曾我部 元親 委員長

皆さん、こんにちは。今年度、委員長を務めております曾我部です。よろしく願いいたします。

中学硬式野球大会では本当に多くの皆さまのご支援とご協力を賜って成功裏に終わることができました。委員会を代表して厚くお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

それでは早速、報告会に入らせていただきます。まず、初めに動画を上映させていただきます。佐藤幹事プロデュースの動画をどうぞご覧ください。

(ビデオ上映)

青少年奉仕委員会 曾我部 元親 委員長

皆さん、動画どうでしたでしょうか。(拍手)素晴らしい出来だったと思います。特にプレーしているところの写真は奥さんが撮っていたと聞いています。素晴らしい写真だったと思います。

それでは、ご挨拶を賜りたいと思います。まず、はじめに始球式において見事な、大道さんがのけ反るようなインコースに速球を投げ込んでいただきました佐渡ガバナー補佐よりご挨拶を賜りたいと思います。よろしく願いいたします。

国際ロータリー第2500地区第7分區

佐渡 正幸 ガバナー補佐



皆さん、こんにちは。本年度、第7分區のガバナー補佐を務めさせていただいております釧路北ロータリークラブの佐渡です。

今回、全道中学親善硬式野球大会にガバナー補佐として、主催者として参加させていただきました。大道実行委員長はじめ、本大会にご参加いただきました各クラブの会長・幹事の皆さま、そして曾我部委員長はじめとします、青少年委員会、釧路ロータリークラブ会員の皆さま、本当にお疲れさまでした。ありがとうございます。

先ほど、始球式の映像がありましたが、私も小学校の頃は野球をやっていましたが、硬式ボールを初めて投げました。最初の練習で球が少しスライスして、シュート気味に行っていたものですから、本番は気をつけておっていました。実行委員長にヘルメットを被っていただけないかなと思って、まさかの事態があったらと思ひまして、慎重には投げました。

すみません、インコースに食い込みまして申し訳ございませんでした。

本年度の第7分區の一発目の分區事業です。この大会が釧路クラブの事業として始まって、本年度で14回目ということです。全道各地から8チームが集まって、中学生の皆さまが真剣に野球に打ち込んでいる姿を拝見して、やはり青少年奉仕の事業は素晴らしいな、これもこれからロータリーとしてたくさん進めていかなければと感じさせていただいたところです。

ロータリアンの使命としては、これから将来を担う子どもたちをしっかりと育てるのが非常に大事なことだと思います。先ほど後藤会長からお話ありましたが、選手宣誓の中の「青春に感動し」という言葉が素晴らしい

しいなど僕は思いました。やはり青春を謳歌して感動している姿をわれわれが支える。その姿をしっかりと見た中で、また自分も「まだまだ、これから青春だ」という思いでロータリー活動続けていきたいという思いにさせていただきました。

今度は9月24日のゴルフ。これはロータリアンだけの『ロータリアン・マスターズゴルフ大会』があります。これも青少年にチャリティーする趣旨、目的で開催させていただきます。ぜひとも多くの皆さまにご参加いただきたいと思います。

それから、今年は各クラブの地区補助金事業がたくさんあります。うちの北ロータリークラブも9月30日に菊池会長のおひざ元の米町あたりで青少年を交えての釧路を知ってもら、文化を知ってもら事業を行います。

釧路クラブさんも10月21日に、湿原の中で釧路の自然を知っていただこうと。その他、各クラブにおいて植樹等をしながら青少年に地域を知ってもらい、これから豊かな心で成長していきたいという思いで本年度の分区活動を進めてまいりますので、ぜひとも皆さまのご理解・ご協力をいただければと思います。

本日はどうもありがとうございました。

釧路リトルシニア球団 監督 橋幸司様



皆さん、こんにちは。ただいま、ご紹介いただきました釧路リトルシニア球団監督の橋と申します。よろしく申し上げます。

本年も全道中学親善硬式野球大会の開催に向け、ご尽力いただきました全ての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

14回目となりました今大会は10球団に案内させていただき、残念ながらスケジュールの都合で3球団が参加できませんでしたが、7球団8チームにて開催することができました。

結果はDVDでご覧のとおりで、釧路リトルシニアは初戦で敗退してしまい、皆さまのご期待を裏切ることになってしまいました。それは、この大会がどんどんレベルが高くなってきている証だと思っていただけたらありがたいと思います。

本大会はリトルシニア北海道連盟の年間スケジュールを基に、北海道連盟の大会と被らないスケジュールで開催日を決定しておりますが、全国大会等のスケジュールの変更で今回は北海道連盟の大会スケジュールと被ってしまいました。上位までその大会に勝ち残っていたチームは参加が危ぶまれたのですが、下級生の2年生チームでチームを編成して工夫して参加

いただきました。

また、参加いただいたチームからは、選手はもちろん保護者も「なかなか釧路に来ることもないので楽しみにしている」と聞かれております。また、近年は釧路も気温が高くなることも多く、「もっと涼しい所で野球ができると思ったのに」という声も聞かれています。また、参加されていないチームからも「釧路の大会に参加できないの」などと聞かれることが多くあります。大会の日程・スケジュール・場所を考えると、これ以上のチーム数を増やすのは難しいことと考えております。

今後も本大会を継続し、中学硬式野球の発展と野球人口の増加、釧路地域の野球の底上げの一端を担って行ければと思っております。次年度以降も、中学親善硬式野球大会開催に向け、皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

また、釧路リトルシニアですが、現在の団員が3学年で16名となっております。目標は1学年9名です。皆さまのお近くに野球が好きな少年がおられましたら是非ご紹介いただければと思います。

本日はどうもありがとうございました。

釧路リトルシニア球団 主将 平野晃生様

皆さん、こんにちは。釧路リトルシニア球団主将の平野晃生です。本日はこのような場にお招きいただきありがとうございます。



今年も全道中学親善硬式野球大会を開催していただきありがとうございました。今回の大会では悔しい結果となってしまいましたが、素晴らしい大会で最高の仲間とプレーができたこと、他のチームの方々と釧路で試合できたこと、普段お世話になっている家族や親せき・学校の先生に頑張っている姿を見せられたこと、そのどれもが嬉しくて、僕にとっても釧路リトルシニア球団にとっても良い経験となり、忘れられない思い出になりました。

全道中学親善硬式野球大会を開催して下さったロータリークラブの皆さま、本当に感謝申し上げます。今後、釧路の野球人口の増加を願うと同時に僕自身も野球を続け、結果を残していきながら、野球の楽しさや得てきた経験をいろいろな場で伝えていき、釧路の野球を盛り上げていきたいです。

これからも釧路リトルシニアの応援をよろしくお願いいたします。

本日はありがとうございました。

釧路リトルシニア球団 大道光肇 会長



お盆で、お経を読み過ぎて、普段が楽しんでいるものからこんな声でごめんなさい。こんな声で長く喋ることは良くないことだと思います。

いわゆる親善野球大会には最初から携わっています。私の毎年の役目は開会宣言で終わってしまうのです。閉会は中山さんにやってもらう段取りであります。というのは次の日も仕事があるものですから。今回は始球式もバッターになりました。生まれて初めてなのです。その素振りの練習をしたのです。だいたいこの辺に来たらこう振ろうとか、当たらないですね。大変だなと思いつつやりました。ところがすごい剛速球が来ました。佐渡さん、若いね。私の頭をめぐらしたのです。振るところじゃないですよ、もう逃げながら振って、怖かった。でも、楽しかったです。これ、来年も私は続けたいと思いますのでよろしくお願いします。

釧路リトルシニア球団が発足して15年以上が経つと思います。行きがかり上ずっと携わっておりました。最初は親睦のグラウンドを探すのが大変だったので。いろんな人で手配して、厚岸や阿寒町だとか公立大学を使ったことがありますね。

今回は、釧路工業のグラウンド。釧路工業の監督と大変親しいのです。彼は座禅が好きで、冬の間びっちり座禅をします。嫌がる生徒を捕まえて、足が痛いのに月2回で、1月・2月・3月で6回。私が指導しているのです。今年は良いところまで行ったのですがおいしいことに負けちゃいました。監督は「とにかく精神統一だ」という中で「いつでも来てください」ということで、もう3年になるお付き合いをしておりました。釧路工業のグラウンドは本当に整備されていてとてもいいグラウンドです。今回も近くの湖陵高校のグラウンドを使ってもらえるということで、近場ですからスムーズにできたと思うのです。ありがたいと感謝しているわけです。

今、釧路リトルシニア球団は少し調子がよくないのです。でも、今まではこの上がり下がりありまして、東日本大会に出たり、いろんな大会に出たりしています。そのうちだんだん上がってくるのではないかと期待しております。

とにかく、少しでも地元のチームが力をつけて、そして高校に送り込むのが私どもの目的ですから、地元を強くして地元で甲子園に行けるような選手に育て上げたいというのが最初の理念でした。

最近はそのようではないよね。北海に行ったり、甲子園に

行くところに行っちゃう、だから釧路はしばらく甲子園に行っていない。でも、期待をもって「いつかは」と思いながら応援しているような状態です。

昨日も日本ハムと西武がやっていました。今、佐藤龍世君が出ています。彼はこのリトルシニアの出身です。厚岸出身で、通って来ましたね。彼の従妹は佐藤綾乃さんといって、高木姉妹と一緒にパラシュートで五輪で金メダルを取っています。彼はうちのリトルシニアから北海高校に行ったのです。それから富士大学で北東北六大学の三冠王を取った。それで西武の指名を受けて西武に入ったのです。辻監督に可愛がられてレギュラーに近くなったのだけれど、どういふわけか3年前に日本ハムにコンバートされたのです。

日本ハムでやったのだけれど、また戻ってきて今は1軍にずっといます。思いっきりのいい選手で、また守備が非常にうまくて、オールラウンドプレーヤーなものですから、私は毎回応援しているのです。そういう選手を少しでも輩出すればいいと思います。これは不可能じゃないなと思っています。監督、これからは指導をよろしくお願いします。

また、駒沢大学の私の後輩もたくさんおられます。この間、中畑に会ったら、「たまに呼んでくれよ」と言うのです。「でも、ギャラが高いのでしょ」と言ったら「それは良いから。呼んでくれたら、いつでも行くよ」と言っていました。そのうち野球教室をやりたいと思います。そういうことで応援したいと思います。去年の今頃は入院していました。もう何も食べられなくて、水も飲めなくて、嚥下障害を起こして体重48キロまで下がっていました。いろんなリハビリをしてよみがえりました。こうやって坊さんをさせていただけるのは仏様のおかげと感謝しております。これからはリトルシニア球団の皆さんの応援をよろしく願いいたします。また第7分区の皆さん方もどうぞ変わらぬご声援をよろしくお願いします。これ以上喋ると声が心配ですから、これぐらいにさせていただきます。

今回は本当にありがとうございました。

ご挨拶 後藤 公貴 会長



改めてお話をさせていただきます。挨拶というより皆さまにお礼の言葉でございます。

14年前、大道住職からお話があったように第1回目が厚岸の球場で開催をされて、その時は大雨の大会で、運営が大変だったと聞いております。私も青少年奉仕の委員長や奉仕プロジェクトの大委員長もさせていただいて、割と数多くこの野球大会には

携わらせていただきました。大会の運営の大変さも本当に分かっているつもりです。本当に長年にわたり、釧路リトルシニア球団の橘監督をはじめ、選手の皆さんにも、そして本日は社用で来られていないですけれど代表理事の中山さんにも本当に尽力いただいています。この場をお借りしまして心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

そして釧路ロータリークラブが主催・主幹で始まったこの大会も、当クラブの吉田秀俊会長の時から第7分区に主催を移行して現在のような運営となったところ

です。少しだけ未来の話をさせていただくと、運営の基礎はもちろん実行委員会が担っているのですが、ロータリーとしての運営主幹が釧路クラブでありますけれど、来年以降はぜひ第7分区内の各クラブから、例えば青少年奉仕担当の方を1人ずつでも出してい

るので、やっぱり知恵は多い方がいいと思っています。

青少年奉仕には先ほど佐渡ガバナー補佐からありましたが、やっぱりロータリークラブの根幹のひとつであると思っています。みんなの力で何とかこの大会をフラッシュアップさせてより良い大会に、そしてたくさんの方が訪れるこの釧路での開催にしてい

たいと思っています。来年以降も、私どももしっかり関わらせていただきたいと思っています。ぜひクラブに帰られましたら今日のことを例会等々でお話をさせていただいて、ひとりでも多くの賛同者を得てまいりたいと思っています。

最後に、関わっていただいた全ての皆さまに私からも感謝を申し上げさせていただいて、お礼の言葉と代えさせていただきます。誠にありがとうございました。

本日のニコニコ献金

- 大道 光肇君 今年も中学親善硬式大会が無事開催することが出来ました。会員の皆様に感謝です。
- 濱口 憲太君 8月4日、無事首の手術入院より退院出来ました。納涼ビアパーティーでは多くの参加ありがとうございます。まで安静ですが引き続き楽しい夜間例会に向けて親睦一同頑張ります。ご参加宜しくお願い致します

今年度累計 68,000円